

平成19年度東北海区海況予報 第5号

平成20年2月19日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2008年3月中旬)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～平年並(35°30'N～36°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- (3)色丹島沖、金華山沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏(39°30'N～40°30'Nまで)で推移する。塩屋崎沖に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°10'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2007年12月～2008年1月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏(35°30'N)から極めて南偏(34°40'N)で推移した。
- (2)暖水塊が、色丹島沖合約200km、金華山沖合約240km*にあった。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、かなり北偏～やや北偏(42°40'N～41°N)であった。また冷水域が三陸沖合に分布した。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢～平年並(143°10'E～142°10'E)であった。
- (5)東北海区の表面水温は、釧路南東沖で平年より高い海域があったが、40°N・147°E付近から常磐沖にかけて平年より低かった。

(現況(2008年1月下旬～2月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は安定せず、やや南偏(35°50'N)している。
- (2)色丹島沖、金華山沖の暖水塊は停滞している。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏している(41°N以南)。
- (4)塩屋崎沖に冷水域がある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並である(142°10'E)。
- (6)表面水温は、日高沖～釧路沖では平年より低く、色丹島沖・常磐沖合ではやや高くなっている。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による